

「一緒にサッカーしようぜ」

小学校六年

五年生の時に総合的な学習をしました。「一緒にサッカーしようぜ」と書かれたポスターを見て、車いすの人が来たら、その人と一緒にサッカーができるかどうかをクラスみんなで考えました。あなただったらどうしますか。

ぼくはできると考えます。理由は二つあります。一つ目は、ポスターに書かれている言葉にあります。ポスターには、「一緒に」と書かれているので、車いすの人も「一緒に」できると思うからです。二つ目は、「意識」です。「車いす」Ⅱ「サッカーはできない」ではなく、「車いすでサッカーをする方法を考える」というように「意識」を変えればよいからです。例えば、義足を付けなければならない、というようにです。しかし、義足を使いこなすのには時間がかかるという問題点があります。

そこで、友達の意見も聞いてみました。すると、「ルールを変える」という方法があると教えてくれ

ました。例えば、移動は車輪を三回まで回すことや車いすの人をキーパーにすること。その時はゴールを少し小さくすること。車いすを特しゆなものにする、などのルール変更です。ただ、「ルールを変えるとおもしろくないから」一緒にしたくないという友達もいました。ぼくは、どちらの意見も理解できるので、どうすればよいか分からなくなってきました。

どちらかの意見にまとまることはなかったけれど、クラスみんなで意見を出し合って「一緒にサッカーをする方法」を時間いっぱい考えました。

このように、私たちの住んでいる社会にはいろいろな立場の人がいて、支え合って生きています。その中で、ちがった意見をもった人とどうすれば理解し合えるのかを考えた時に、一人一人が相手のことを自分のこととして考え、思いやることが大切になってくると思います。そうなれば、世界中の人みんなが幸せに暮らせると思います。今回の学習で学んだようなサッカーなどのスポーツもみんな一緒にできると思います。ぼくたち一人一人がそんな社会を実現する一員となって行動していきたいと思っています。